

ノ保持ニ付政府ハ如何ニ考ヘルカ
答 貴見ハ充分參考トシテ善處スル。

閣甲二

昭和十五年一月三十日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

五

法制局長官



外務大臣

五

陸軍大臣

五

文部大臣

五

逓信大臣

五

厚生大臣

五

内務大臣

五

海軍大臣

五

農林大臣

五

鐵道大臣

五

大藏大臣

五

司法大臣

五

商工大臣

五

拓務大臣

五

別紙内閣總理大臣及鐵道拓務兩大臣請議
陸運統制令制定ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

法制局

閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

朕陸運統制令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

御名 御璽

昭和十五年 一月三十一日

内閣總理大臣
鐵道大臣
拓務大臣

呈案附箋ノ通

法制局附第々號

昭和十五年 一月廿六日

企畫院上申第六號

閣議請議

陸運統制令制定ノ件

時局ノ進展ト歐洲ニ於ケル新情勢ノ發展ニ伴ヒ生産力擴充關係物
資、生活必需品等重要物資ノ輸送ニ遺憾ナカラシムル爲國家總動
員法第八條及第十七條ノ規定ニ基ク勅令ヲ制定スルノ必要アリ仍
テ別紙勅令案ヲ提出ス
右閣議ヲ請フ

昭和十五年 一月二十五日

内閣總理大臣 米 内 光 政



閣中 一一

内

閣

鐵道大臣 松野 鶴



拓務大臣 小 磯 國



內閣總理大臣 米 內 光 政 殿

勅令第三十七號

陸運統制令

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク陸上ニ於ケル、輸送用物資ノ使用及同法第十七條ノ規定ニ基ク陸上運送事於ケル統制協定ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受若ハ順序又ハ運送スベキ貨物ノ受取若ハ運送シタル貨物ノ引渡ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ貨物ノ引渡ヲ請求シ又ハ貨物ノ引取ニ應ジタル荷受人其ノ他貨物ノ引取ヲ爲スベキ者ニシテ引取ヲ爲スベキ期間内ニ引取ヲ爲サザルモノニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シ貨物ノ引取ヲ命ズルコトヲ得

陸運統制令

内閣

鐵道大臣 松野 鶴



拓務大臣 小 磯 國



内閣總理大臣 米 内 光 政 殿

勅令第三十七號

陸運統制令

第一條 國家總動員法第八條ノ規定ニ基ク陸上ニ於ケル、
輸送用物資ノ使用及同法第十七條ノ規定ニ基ク陸上運送事業者間ニ
協定ニ關シ必要ナル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルト
キハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受若
ハ順序又ハ運送スベキ貨物ノ受取若ハ運送シタル貨物ノ引渡ニ關シ
必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルト
キハ貨物ノ引渡ヲ請求シ又ハ貨物ノ引取ニ應ジタル荷受人其ノ他貨
物ノ引取ヲ爲スベキ者ニシテ引取ヲ爲スベキ期間内ニ引取ヲ爲サザ
ルモノニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シ貨物ノ引取ヲ命ズルコ
トヲ得

車輦其、他

第四條 鐵道大臣ハ相當期間繼續シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル出貨者ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシムルコトヲ得
鐵道大臣前項ノ出貨者ニ對シ同項ノ申告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタルトキハ出貨者ハ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ又ハ爲サシムベシ
第五條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲、必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、運送賃其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定、變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得

第六條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ貨物運送ノ引受若ハ順序、貨物ノ受關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店舖、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

日本標準規格B4列

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢查セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第七條 鐵道大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ鐵道局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スルコトヲ得

第八條 本令中鐵道大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ鐵道局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ交通局長又ハ州知事若ハ廳長トス

附 則

本令ハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

取、引渡、託送若引取

第四條 鐵道大臣ハ相當期間繼續シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル出貨者ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシムルコトヲ得

鐵道大臣前項ノ出貨者ニ對シ同項ノ申告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタルトキハ出貨者ハ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲シ又ハ爲サシムベシ

第五條 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲、必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ陸上運送事業者ニ對シ設備ノ共用、連絡運輸、直通運輸、運送賃其ノ他ノ事項ニ關スル統制協定ノ設定、變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得

第六條 鐵道大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ貨物運送ノ前條ノ統制協定ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店鋪、事業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯サシムベシ

第七條 鐵道大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ鐵道局長又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ委任スルコトヲ得

第八條 本令中鐵道大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トシ鐵道局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ警府鐵道局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ交通局長又ハ州知事若ハ廳長トス

附 則

本令ハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

理由

時局、進展ト歐洲ニ於ケル新情勢、發展ニ伴ヒ生産力擴充關係物資、
生活必需品等重要物資、輸送ニ遺憾ナカラシムルタメ陸上運送ニ關シ
所要ノ措置ヲ講ズルノ要アルニ依ル

内閣

寫

昭和十四年十二月十六日

參照

國家總動員審議會總裁 阿部 信行 殿

內閣總理大臣	阿部 信行
鐵道大臣	永田 秀次郎
拓務大臣	金光 庸夫

別紙諮問第二十九號陸運ノ統制ニ關スル勅令案要綱ニ對シ貴會ノ意見ヲ請フ

諸情第二十九號

陸軍、統制ニ關スル勅令案要綱

第一 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受若ハ順序又ハ貨物ノ受取若ハ引渡ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

第二 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ引取期間内ニ貨物ノ引取ヲ爲サザル尙主ニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シ貨物ノ引取ヲ命ジ得ルコト

第三 鐵道大臣ハ相當期間ニ亘リ繼續シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル尙主ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメ得ルコト
鐵道大臣前項ノ申告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタルトキハ尙主ハ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其ノ指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲スベキコト

第四 鐵道大臣ハ陸上運送事業者ニ對シ設備、共用、直通運輸、運賃、運送貨其、他ノ事項ニ關スル協定、設定、變更又ハ取消ヲ命ジ得ルコト

第五 鐵道大臣ハ輸送及第四ノ協定ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店舗、作業場、事務所、倉庫、貨物置場其、他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ書類其、他ノ物件ヲ檢査セシメ得ルコト

第六 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト

總審庶第一七號ノ一

昭和十四年十二月二十二日

國家總動員審議會總裁 阿 部 信 行

內閣總理大臣 阿 部 信 行 殿

鐵道大臣 永 田 秀次郎 殿

拓務大臣 金 光 庸 夫 殿

諮問第二十九號陸運ノ統制ニ關スル勅令案要綱ニ付慎重審議ヲ遂ゲ提案ノ趣旨適當ナルモノナリト議決致候
右答申候也

諮問第二十九號

陸運ノ統制ニ關スル勅令案要綱

第一 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ陸上運送事業者ニ對シ貨物運送ノ引受若ハ順序又ハ貨物ノ受取若ハ引渡ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト

第二 鐵道大臣總動員物資ノ輸送ヲ確保スル爲必要アリト認ムルトキハ引取期間内ニ貨物ノ引取ヲ爲サザル荷主ニ對シ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シ貨物ノ引取ヲ命ジ得ルコト

第三 鐵道大臣ハ相當期間ニ亘リ繼續シテ運送スル必要アル總動員物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノニ付命令ノ定ムル荷主ニ對シ當該貨物ノ託送ニ關シ必要ナル事項ノ申告ヲ爲サシメ得ルコト

鐵道大臣前項ノ申告ニ基キ託送ノ期日又ハ期間、數量等ヲ指定シタ

ルトキハ荷主ハ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ヲ除クノ外其指定ニ從ヒ貨物ノ託送ヲ爲スベキコト

第四 鐵道大臣ハ陸上運送事業者ニ對シ設備ノ共用、直通運輸、連絡運輸、運送賃其ノ他ノ事項ニ關スル協定ノ設定、變更又ハ取消ヲ命ジ得ルコト

第五 鐵道大臣ハ幹線及第四ノ協定ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ店鋪、作業場、事務所、倉庫、貨物置場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシメ得ルコト

第六 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト

參照

●國家總動員法 昭和十三年四月（國務各大）
法律第五十五號（臣副署）

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ加盟者若

ハ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキ
コトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ム
ル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃賃料又ハ加工賃ニ關
シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依
リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況
若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十回國家總動員審議會ニ於ケル陸運統制令ニ
關スル質疑應答

問 國有鐵道ノ輸送狀況、事變以來ノ車輛増備狀態並ニ將來ノ計畫如
何

答 客車ニ於テモ貨車ニ於テモ相當ノ車輛數ヲ増加シテキル運賃收入
ハ客貨合セテ昭和十二年度ニ比シ昭和十三年度ハ約五割増トナル。
昭和十三年度以降四年計畫ヲ獨立シ昭和十四年度ニ於テモ大ニ輸
送能力ノ増強ニ努メル

問 貨車不足ニ依ル滞貨ハ増加シテキナイカ、滞貨ヲ如何ニ處分スル
カ

答 車輛不足ニ依ル滞貨ハ相當アルガ毗車困難ヲ思フ様ニナラヌ各方
面ノ協力ヲ得テ解決シテ行ク積リデアアル

問 最近ガソリン統制ノ結果自動車運賃ガ急迫シテ荷馬車、荷車ガ増
加シ法外ノ對價ヲ要求スルノハ物價政策ニモ影響ヲ及ボストコロ

大デアルコレハ如何ニ處置スルカ

答 自動車ノ燃料確保ニ付テハ困難ヲ極メテキルガ代用燃料等ヲ以テ緩和ニ努メル。荷馬車、荷車ハ小運送ノ範圍デ地方長官ノ管轄スル所デアアルカラ通牒ヲ發シテ、價格等統制令ノ標準ニ依ツテ運賣高騰ヲ抑制スル

問 貨物自動車運送事業法案ヲ議會ニ上提セラルル由デアアルガ事前準備トシテ統制組合又ハ會社組織ノ如キモノヲ作ルベク勸誘セル事實アリヤ

答 右法案ハ目下研究中デ業者ガ自發的ニ商業組合ヲ結成セントスル機運ハアルガ現在勸誘セル事實ハナイ

問 優先輸送ノ基準如何、輸出原材料ハ優先輸送ノ中ニ這入ルカ
答 生産力擴充用物資、國民生活必需品等ニ付キ優先輸送ヲ考ヘテキル。輸出原材料ハ運賃デハ考慮スルカ優先輸送迄ハ考ヘテキナイ。優先輸送セラレル物資ハ品目ヲ列記スルノ方法ヲ採ルカ

客 物資ノ輸送ハ社會公衆ニ重大ナル關係ガアル故優先輸送ヲナス物資ニ付テハ列記主義ヲ採ツテ之ヲ明カニスル。車需品、生活必需品、輸出品等ト抽象的ニ考ヘレバ間違ナイガ社會情勢ノ必要カラ

車需品ヨリモ生活必需品ヲ先ニ輸送セネバナラヌコトガアル。標準ヲ定メタトキハ出來ル限り一般ニ示ス方法ヲ採リ度イ

問 第四ニ付テハ業者ノ經濟的關係ガアル補償デモセラレルノデアアルカ

答 取消、變更ヲ命ジテモ補償ノ問題ヲ生ズルコトナキモノト思フ。尙第四ハ國家總動員法第十七條ニ基クモノデ補償ノ規定ハ適用セラレナイ。

問 陸上交通事業調整法ニ同種ノ規定ガアルト思フガ之ニハ補償ノ規定ガ無い右ト同様デアアルカ
答 然リ、尙地方鐵道法、軌道法ニモ同趣旨ノ規定ガアルガ補償ハシナイ。

問 鐵道省ノ運賃政策ニ付承リ度低物價政策トノ關係ニ付將來ノ方針如何

答 國有鐵道ニ於ケル運賃政策ハ低物價政策ニ順應セネバナラヌコトハ勿論デ出來ル限り協力セネバナラナイ。去ル十一月一日生産力擴充資材、生活必需品等ニ付運賃ノ引下ヲ行ツタ。來年四月一日ヨリハ更ニ引下ヲ考慮シテキル。

問 尙方法トシテ割引方法ヲ採ルカ、現行率ヲ低減スルカニ付テハ、相當長期間ニ亘ルトキハ根本ノ買率ヲ低クシ、短期間ナラバ割引ヲスル様ナ方針デアル。運賃ハ恒久性ヲ持タスコトヲ根本方針トシテ行キタイ。

答 賣澤品ノ輸送ヲ制限禁止スル論ガアルガ之ハ運賃ヲ引上ゲタ方ガ適當デアル様ニ思フガ如何
目下其ノ點ニ付テハ考ヘテ居ナイ。賣澤品ノ消費ヲ抑制スル如キ運賃ノ引上ハ相當大キナ引上ニセネバナラヌ。ムシロ消費稅等ヲ

電線スルノガヨイノデハナイカト思フ。

問 運送事業者ト運送業者トハ異ルカ、商法上區別ガアルカ

答 判然タル區別ヲシテ使ツタ文字デハナイ。商法デハ運送業者ト云フ言葉ヲ使ツテイルガ勅令制定ニ當ツテ用語ノ意義ヲ明ラカニセネバナラヌ。感ジカラ云フト運送業者ト云フト營業トシテヤル、事業者ト云フト營業トシテヤル場合以外モ含ムト思フ

問 運送機關ニ屬スルモノデ内務省所管ニ屬スルモノアリヤ、運送器具トシテ監督セルモノアリヤ

答 内務省ハ警察上ノ見地ヨリ所轄スル。運河ニ付テハ内務省ノ所管デアアルガ大規模ノモノデ船舶ノ航行スルモノハ遞信省所管デアル。尙殘流ハ内務省所轄デハナイカト想像スル

問 本令ハ出サナイデモ本令ノ企圖スル所ハ鐵道大臣ノ職權デ出來ルコトト思フ。前ノ歐洲大戰ノ時驛長ヲ變應シテ輸送ノ便ヲ圖ラシメタト云フ事實モアツタノデ、斯ル弊害ヲ繰返サナイ様ニ鐵道大

答

臣ノ職權デ適當ニヤツテハドウカ

申込順ニ依ッテ、輸送スルコトハ鐵道營業法ノ規定スル所デア
ルニハ鐵道大臣ノ職權デハ出來ナイ。本勅令ノ如キモノガ必要デ

アル。尋長ニ關シオ説ノ如キ事實ナイト思フガ充分留意スル

問

命令ヲ以テ指定スルモノ、命令ヲ以テ定ムル荷主ノ意義如何

答

荷馬車、自動車等ハ本令ノ制限カラ除外サレテイルカ。

鐵道運輸ニ付テ云ヘバ大量輸送ノモノデ而カモ生産力擴充又ハ生
活必需品ニシテ例ヘバ米、木炭肥料ノ如キモノガ命令ヲ以テ指定
スルモノデアル。

又命令ヲ以テ定ムル荷主トハ例ヘバ石炭ノ輸送ヲ依頼スル荷主ノ
如ク過去ノ實踐ニ依ッテキル。又豫メ鐵道輸送ヲ申出デルコトニ
ナツテキル。

荷馬車等ハ本令ノ適用範圍ニ屬スル。

内閣